

# Oracle Hospitality OPERA Reporting and Analytics Cloud Service

今日のホテル企業は情報に翻弄されています。往々にして情報を処理できないだけでなく、そこから洞察を得ることもできず、有効なアクションをとることもできません。データが金銭的な価値を持つデジタル・エコノミーでは、データを賢明かつ適切に適用する能力が、ビジネスの成功を決定づける重要な要素となります。情報を味方につけられるようにするために、Oracle HospitalityはOPERA Reporting and Analytics Cloud Service (OPERA R&A)を公開しました。これは、ホテルのチーム・メンバー1人1人が(勘ではなく)事実に基づいて決定を下せるように支援する次世代のレポート作成ソリューションです。

## OPERA R&Aが優れている理由: 他の追随を許さない分析力

OPERA Reporting and Analytics Cloud Serviceは、業界をリードするアーキテクチャで構築された戦略的な新製品であり、それを支えているのがOracle Business Intelligence Enterprise Edition (OBI)です。Oracle Business Intelligence (OBI)は、簡単に言うと、業界対応の強力な分析エンジンで、業界リーダーが競争から抜け出すために役立つレポートを開発、設計、展開する機能を備えている点が特徴的です。OPERA Reporting and Analyticsに搭載されたOBIは、Fortune 100に名を連ねる一流企業の多くにビジネス・インテリジェンスを提供しているOracleエンジンと同じものです。

業界をリードするOBIプラットフォームを活用するOPERA Reporting and Analyticsにより、ホテル経営者は、ビジネス・データや指標、直感的なデータ視覚化機能、そしてレポートのカスタマイズに適したデータを「さまざまな切り口から分析する」機能に、包括的にアクセスできます。また最も重要なのは、施設や社内の従業員が、必要なレポートを生成できる点です。施設のオペレーション・マネージャから社内の収益管理責任者まで、主要な人員が固有の責務に特化した情報を迅速に取得し、分析して必要なアクションをとることができます。

## 主な特徴

- ・ 様々な業務分野(ホテル業務、収益管理、販売、マーケティング、ケーターリングなど)から集めたデータから洞察を得ることができます。
- ・ 分析結果を利用して、部門、ホテル、またはチェーン・レベルでパフォーマンスを把握できます。
- ・ ホテル施設全体にわたって、ビジネス・ユーザーが情報に基づいて迅速に業務上の意思決定を行えるよう支援します。
- ・ ホテルおよび飲食関連全体において、レポート作成に関する共通のユーザー・エクスペリエンスを提供します。
- ・ 視覚化ツールを使用して、レポートの価値を高めることができます。
- ・ フィールド・レベルのデータにアクセスできるため、独自のカスタム・レポートを作成/実行できるほか、アドホック分析を行うことができます。

## レポート機能の本質的な強化: 簡素化、統一化、統合。

OPERA Reporting and Analyticsの機能は、簡素化、統一化、統合の3原則に基づいて構築されています。

- ・ **簡素化:** レガシーの様々なレポート作成ツールを統合することにより、このプラットフォームでは、ホテル経営者が1つのソリューションだけですべてのレポート作成ニーズに対応することができます。その結果、ユーザーは短期間で使用方法を習得でき、1つの簡素化されたソリューションを使用するだけで様々な使用目的に対応することができます。
- ・ **統一化:** Oracle Hospitality Food & Beverageレポート作成ソリューションと同じプラットフォーム上に構築されているOPERAは、プラットフォームの機能を活用して、より速いペースで新たなイノベーションを提供します。Oracle Hospitalityは先日、F&Bアプリケーション向けに強化されたReporting and Analyticsプラットフォームを発表しました。そこにOPERAデータを追加することで、統一したレポート作成プラットフォームが構築され、いくつかの利点を実現しています。その中で最も重要なのは、ホテルおよびF&Bのレポート作成を効率的にナビゲーションできる共通のユーザー・エクスペリエンスです(これは特に、F&B施設を運営するホテルおよびカジノ業界のお客様にとって有益です)。またOracle Hospitalityは複数の関連アプリケーションでデータを活用できる基盤を築くため、将来的にさらに重要なビジネス上の洞察を提供します。
- ・ **統合:** このレポート作成ソリューションはホスピタリティ業界向けに特化して構築されており、OPERAと緊密に統合されています。つまり、OPERAネイティブであり、OPERAのデータ構造と連動するように特別に設計されています。OPERAの画面に表示されるフィールドは論理的にグループ化され、使いやすい形で提供されているため、実用的なレポートを簡単に生成できます。

## 主な利点

- ・ 運用データから得た情報を使用して、適切な意思決定を行うことができます。
- ・ ホテル業務の効率を高めます。
- ・ 収益管理方法と販売状況を改善します。
- ・ プロパティ・マネジメントを強化し、より優れたゲスト・エクスペリエンスを提供できます。

## 統合されたレポート作成ツール

OPERA Reporting and Analyticsは、これまで異種のソリューションやサードパーティ製品を使用する、あるいは商用のビジネス・インテリジェンス・プラットフォームの上に間に合わせのソリューションを構築する必要があったOPERAユーザーのユーザー・エクスペリエンスを変革します。



セルフサービスによる検出機能、高度な視覚化機能、強力なレポート機能により、ユーザーは行動に結びつく洞察を得ることができます。

## 高い評価を得ているORACLEのテクノロジー・スタックを活用

OracleテクノロジーをルーツとするOPERA Reporting and Analyticsは、高い評価を得ているデータ統合製品やビジネス・インテリジェンス(BI)製品をはじめとしたOracleのテクノロジー・スタックを活用しており、特に、セルフサービスによる検出機能、高度な視覚化機能および強力なレポート機能を提供するエンタープライズクラスのBIプラットフォームを活用しています。

OBIの独自のパッケージングと、OPERA Reporting and Analyticsへの融合により、大規模なホテル・チェーンから独立系ホテルに至るまで、あらゆる規模のホテルがその機能を活用できます。さらに、OPERA Reporting and Analyticsでは、OPERAからレポート作成プラットフォームへのデータ移行を可能にする強力なデータ変換および統合ツールも採用されています。このような複雑なテクノロジーがすべてクラウド・サービスに含まれているため、各施設はIT管理業務から解放され、主要な業務に集中することができます。

## データを解析する：「百聞は一見に如かず」

OPERA Reporting and Analyticsは、広範なビジネス・トピックをカバーしており、その中には、施設情報、プロフィール、予約、ブロック、料金および収益の種類、財務、セールスおよびマーケティングが含まれています。これらのトピックは、主要なビジネス指標に簡単にアクセスできるように構造化されているほか、このようなトピックすべてを解析する強力な視覚化ツールが数多く提供されています。OPERA Reporting and Analyticsではデータを「さまざまな切り口から分析」することが容易にできるため、スタッフは効率的に洞察を収集し、優れたゲスト・エクスペリエンスを提供するという最も重要な目標を達成できます。

強化された視覚化機能は、このプラットフォームを特徴づける機能の1つであり、「百聞は一見に如かず」という表現を象徴するものとなっています。このケースでは、「大量のデータを1度に視覚化する」ということになるでしょうか。

線グラフと棒グラフのコンビネーション画像を見るだけで、対応の必要のある分野を迅速に特定できる機能について想像してみてください。標準的な表や、ピボット・テーブル、円グラフ、線グラフなど、データ表示には20近くの様々なオプションがあります。またOPERA Reporting and Analyticsは、データの種類に基づいて最適な表示オプションを提示します。

ユーザーは次のような高度な機能を活用できます。

- ・ **データ操作:** 例えば、ある組織が業績指標(KPI)の計算に独自の方法を使用している場合、任意のフィールドを取り込んで関数を適用し、指標を計算することができます。レポート作成ソリューションで一般的に用いられている式の1つに、Average Daily Rate (ADR、1日あたりの平均宿泊料)があり、部屋の収益を、予約済み部屋数で除算するだけで、ADRを導き出すことができます。
- ・ **内部機能へのアクセス:** ユーザーは最大値や最小値、ランキングを導き出すことができ、フィールドを編集することで、返されるストリングを修正することができます。

OPERA Reporting and Analyticsで最も重要なのは、フィールド・レベルのデータにアクセスできるという点です。これにより、アドホックのレポートを作成したり、最新のレポート作成ニーズに対応するカスタム計算式を作成できます。つまり、それは独自に生成したデータであり、OPERA Reporting and Analyticsはそのデータを競争上の優位性へとつなげられるようなツールを提供します。

## 関連製品

Oracle Hospitality OPERAスイートに含まれるもの:

- ・ Oracle Hospitality OPERA Cloud Services
- ・ Oracle Hospitality OPERA Property Cloud Services
- ・ Oracle Hospitality OPERA Property
- ・ Oracle Hospitality OPERA Sales and Catering Cloud Services
- ・ Oracle Hospitality OPERA 5 Sales and Catering

## すべての従業員が優れた業務をこなせる

OPERA Reporting and Analyticsはすべての人に役立ちます。上層のエグゼクティブからフロントデスクのスタッフまで、このソリューションは各自が必要な情報を提供し、実用的な洞察をもたらします。以下のように、このプラットフォームは様々な役割を支援します。

- ・ **企業/地域の収益管理担当者:** 複数の施設を擁するグループを同時に確認する責任があるこの担当者は、複数の施設のパフォーマンスを比較するだけでなく、これらの施設の対前年比のパフォーマンスも同時に評価する必要があります。特定の期間のADR、総収益、RevPAR(販売可能客室数あたりの客室売上)などの計測値について、線グラフと棒グラフを併用したレポートを生成することで、上位のパフォーマンスを達成した従業員や、注意が必要な従業員をすぐに特定できます。
- ・ **プロパティ・ジェネラル・マネージャ:** このソリューションを使用して、施設レベルでのパフォーマンスに関するハイレベルなビューを生成するほか、業績指標の詳細(部屋の収益または占有率など)を確認することができます。例えば、ジェネラル・マネージャは、日々のビジネス・オペレーションの概要を個々のマネージャの職務に応じて生成することができます。また、アクティビティ概要を部屋の収益、F&Bの収益、過去24時間の部屋占有率といった主要な計測値ごとに表示して、前年の同時期(STLY)や過去1か月(MTD)、過去1年(YTD)と比較することができます。このようなレポートにより、ジェネラル・マネージャは施設内の様々なオペレーションのパフォーマンスを評価し、より良い形で日々の意思決定を行うことができます。
- ・ **オペレーション・マネージャまたはフロント・デスク・マネージャ:** 彼らの懸念事項の中でも重要なのは、チェックインとチェックアウトの客室数を毎日監視して、十分な客室を用意することです。また、様々なVIPゲストを確認し、サービス停止(OOS)または故障中(OOO)の原因となる客室のメンテナンスに関する問題を管理します。OPERA Reporting and Analyticsのほぼリアルタイムの機能により、チェックイン済みの客室数、チェックアウトおよびチェックイン予定の客室数、空室の客室数とその清掃状況などの重要なデータを示すレポートにアクセスできます。その結果、必要とされる清掃済みの部屋の過不足を迅速に特定したり、ハウスキーピングに関する問題を迅速に解決したりできます。



日々のビジネス・オペレーションをまとめたマネージャ向けの概要など、複数のポジションに関する全体像を提供します。

## まとめ

Oracle Business Intelligenceを搭載するOPERA Reporting and Analyticsは、施設に所属するあらゆるユーザーが情報に基づいて意思決定でき、オペレーションの効率を向上させることができるよう支援します。3つの包括的な原則である簡素化、統一化、統合に基づいて構築されたこのソリューションは、その約束に従い、優れたゲスト・エクスペリエンスを最終的に実現します。

## お問い合わせ

Oracle Hospitality OPERA Reporting and Analytics Cloud Serviceの詳細は、[oracle.com](http://oracle.com)を参照するか、オラクル社の担当者まで電話(+1.800.ORACLE1)でお問合せください。

## ORACLEとつながる

 [blogs.oracle.com/hospitality](https://blogs.oracle.com/hospitality)  [facebook.com/OracleHospitality](https://facebook.com/OracleHospitality)  [twitter.com/OracleHosp](https://twitter.com/OracleHosp)

## Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. この文書は情報提供のみを目的とし、内容は予告なく変更される場合があります。この文書は、誤りのないことを保証するものではなく、口頭や法の指示によるいずれの場合も、販売可能性や特定用途への適合性について暗黙の保証や条件を含め、その他の保証や条件の対象となるものでもありません。当社はこの文書に関する一切の責任を放棄し、この文書による直接的または間接的な契約上の義務は生じないものとします。この文書は、いかなる形式や手段によっても、どのような目的でも事前の書面による承諾なく、電子的または機械的に再生または送信することを禁じます。

OracleとJavaは、Oracleおよびその関連会社の登録商標です。他の名称は各所有者の商標である場合があります。

インテル®およびインテル® Xeon™は、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARC商標は、ライセンスの下で使用されており、SPARC International社の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices社の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。0118

ORACLE®